



乳幼児のコロナワクチンについて

なかなか収束しないコロナ禍も、ウィズコロナの段階に突入して徐々にイベントが復活し、行動制限が緩和されてきました。そんな中、乳幼児に対するコロナワクチンの接種が始まりました。接種券は届いたけど、実際どうしたら良いか分からず悩んでいるママ達が多くいらっしゃいます。今回は、そんなママ達と一緒に乳幼児に対するコロナワクチンの接種について考えてみようと思います。

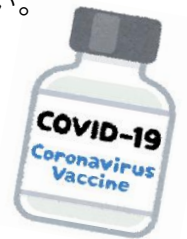
乳幼児のコロナワクチンはいつから？効果は？？

今までは、小児のコロナワクチン接種は5歳以上が対象となっていました、
2022年10月24日より生後6か月～4歳までの乳幼児もコロナワクチン接種の対象となりました。



<ワクチンについて>

- ・使用されるワクチン:ファイザー社製の「コミナティ筋注6か月～4歳用」
- ・接種方法：1回0.2mlを計3回接種
(1回目接種後3週間の間隔をおいて2回目を接種した後8週間以上の間隔をおいて3回目を接種)
- ・有効成分：12歳以上に使用するファイザー製ワクチンの10分の1の量
- ・効果：3回目接種後の発症予防効果は73.2%と報告されている
- ・副反応：易刺激性や食欲減退、発熱、圧痛、注射部位の腫れ、筋肉痛など。
現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていない。
- ・コロナワクチン接種前後13日以上は他の予防接種と間隔をおく必要がある。



松浦市のコロナワクチン接種について（生後6か月～4歳まで）

- ・実施期間：令和4年11月～令和5年3月31日

※実施終了予定日の3月31日までに3回目まで接種を完了するためには令和5年1月12日までに1回目接種を受ける必要があります。1月12日以降の1回目接種に関しては松浦市役所健康ほけん課へお尋ねください。

- ・費用：無料
- ・接種機関：坂口こどもクリニック（接種日時は現在12/29, 1/6, 1/12を受付中）
- ・予約方法：1回目接種の予約は松浦市コールセンターまたはWEB

2回目以降は坂口こどもクリニックで案内

詳しい予約方法などは接種券に同封されている案内をご覧ください

☆各お問い合わせ先☆

予約などに関して：松浦市コールセンター（095-821-4601）

小児のワクチン接種に関する専門的なこと：長崎県小児ワクチン接種相談センター
（0800-500-8740）

副反応などの専門的な問い合わせ：長崎県コールセンター（0120-764-060）

接種券の再発行など：松浦市役所健康ほけん課（0956-72-1111）

乳幼児のコロナワクチンは接種しなければならないの？



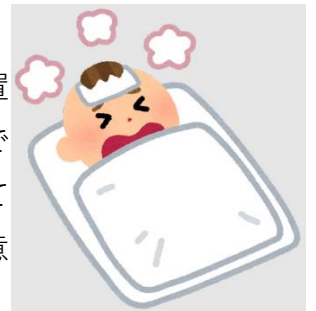
乳幼児のコロナワクチン接種は強制ではありません。努力義務とはなっていますが、最終的には保護者の判断で接種の判断を行います。ワクチンを接種するメリットとリスクを考えてご家族でよく話し合って判断しましょう。「周りが接種してないからいいか。」「〇〇ちゃんが接種したらしいから接種しよう。」ではなく、家庭の状況やお子様の置かれている環境などから判断しましょう。難しい判断ですが、お子様がコロナに感染したらどんな影響があるか、それがワクチンを接種することによる副反応の心配と比べるとどうなのかを考えます。もちろんワクチンを接種しても感染は100%予防できないため判断は難しいと思いますが、左記の項目をポイントとして総合的に判断してみてください。

☆ポイント☆

- ・お子様に基礎疾患はあるのか
- ・保育施設等に通っているか
- ・重症化しやすい家族
(基礎疾患がある方、妊婦、高齢者)
と同居しているか
- ・両親の仕事がより人と接する仕事か

乳幼児がコロナにかかったらどうなるの？症状は？

以前はこどもは重症化しないといわれていましたが、流行がオミクロン株に置き換わってからは乳幼児の重症化例や死亡例の報告もあります。また、重症例でなくとも40℃近くの発熱や激しい咳・のどの腫れにより苦しむ例が多くなっています。特に乳児は自身で症状を訴えることができないので、周囲の大人が注意深く観察してあげなければなりません。



定期の予防接種、インフルエンザ予防接種を接種しましょう

乳幼児はただでさえ定期の予防接種が多くスケジュール管理するのもひと苦労ですね。インフルエンザの予防接種も13歳未満であれば2週間以上の間隔をおいて2回接種する必要があります。インフルエンザの予防接種は任意接種で費用がかかりますが、松浦市では18歳までのこどもに対するインフルエンザの予防接種の一部助成を行っており、指定の医療機関では1回1,000円の自己負担で接種できます。ぜひインフルエンザの予防接種に関しても検討してください。

乳幼児のコロナワクチン接種、悩ましいですよね。大人でも副反応があるのに小さな身体に本当に接種しても大丈夫なの??と sentirられる方が多くいらっしゃると思います。ワクチン接種に対する考え方は本当に人それぞれなので、どちらが正しいということはありません。ただし、接種するにしましめないにしても、3密を避けるなどの引き続きの感染予防対策や、周囲の大人がワクチン接種を完了させるということはとても大切なことです。

予防接種のスケジュールの立て方が分からない場合や、どう考えて良いか分からないという場合はいつでもご相談に応じ、一緒に考えますのでぜひ「だっこだっこ」へご相談ください。



助産師 池田

☆☆お問い合わせ先☆☆
松浦市子育て・こども課
だっこだっこ

(子育て世代包括支援センター)

TEL:0956-72-1111 (内線:197)

